

授業科目

アスレティックトレーナー論

担当教員名 柵木 聖也	対象学年	1	対象学科	スポ
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

授業の概要

日本におけるアスレティックトレーナーの業務内容や求められる資質、歴史的背景を紹介すると共に、諸外国のトレーナー制度との対比を行う。

授業の目的

アスレティックトレーナーを目指す学生にとって、最初に必ず理解すべき基本的事項（業務内容、他のチームスタッフとの連携協力、組織運営と管理、倫理規定等）について理解する。

学習目標

1. 日体協公認スポーツ指導者制度における公認アスレティックトレーナー養成事業の歴史的背景やその設立趣旨、位置づけについて学ぶ。
2. 諸外国のトレーナーの業務や資格制度、内容について学ぶ。
3. 我が国におけるアスレティックトレーナーの担うべき任務とその役割について学ぶ。
4. 他のチームスタッフとの連携・協力の意義と重要性について学ぶ。
5. スポーツ組織の運営方法とその組織内での健康管理に関する各種データの収集とその管理について学ぶ。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	アスレティックトレーナーとは (1) 日体協における養成事業の概要	講義	柵木 聖也
2	アスレティックトレーナーとは (2) 我が国のアスレティックトレーナーの歴史的背景	講義	柵木 聖也
3	アスレティックトレーナーとは (3) トレーナーの起源と諸外国の実情との比較	講義	柵木 聖也
4	アスレティックトレーナーの業務 (1) アスレティックトレーナーの任務、役割	講義	柵木 聖也
5	アスレティックトレーナーの業務 (2) アスレティックトレーナーの具体的業務内容	講義	柵木 聖也
6	チームスタッフとの連携・協力 (1) サポートチームにおけるメディカルスタッフ	講義	柵木 聖也
7	チームスタッフとの連携・協力 (2) コーチ、ドクターの役割とその連携・協力	講義	柵木 聖也
8	チームスタッフとの連携・協力 (3) その他のチームスタッフとの連携・協力	講義	柵木 聖也
9	組織運営と管理 (1) スポーツ組織全体に対する理解	講義	柵木 聖也
10	組織運営と管理 (2) アスレティックトレーナーの組織・体制づくりとその運営	講義	柵木 聖也
11	組織運営と管理 (3) 記録およびデータ採取の必要性とその方法	講義	柵木 聖也
12	アスレティックトレーナーと倫理 (1) 社会全体を支える秩序	講義	柵木 聖也
13	アスレティックトレーナーと倫理 (2) アスレティックトレーナーの社会的立場と貢献	講義	柵木 聖也
14	アスレティックトレーナーと倫理 (3) アスレティックトレーナーに求められる倫理観	講義	柵木 聖也

15	まとめ	講義	柵木 聖也
----	-----	----	-------

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	公認アスレティックトレーナー 専門科目テキスト1	(財)日本体育協会	(財)日本体育協会			
参考書						
その他の資料						

評価方法

レポート課題にて評価する。

履修上の留意点

アスレティックトレーナーに対して興味のある学生は、是非受講されたい。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：毎週木曜日の18:00～19:00

連絡先：masegi@nuhw.ac.jp